

学校法人 滋慶学園 東京医薬看護専門学校 学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価 評価表

【2023年5月21日実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

記入者氏名【 阿部 健 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3	教育理念・目的・育人人材像は、明文化・文章化されており、会議や研修等においては、これらを用いながら行うことで理念等の普及・徹底を実現している。また、マーケティングとイノベーションにより、社会の新たな人材ニーズと見出し、育人人材像として明確化して新学科の創設やカリキュラム変更を行っている。理念等の実現のため、目標、事業計画などは、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会において、広く意見を聞き、適宜見直しを行っている。	【建学の理念】 ①実学教育…卒業後、即戦力となる専門的な知識・技術(テクニカルスキル)を身につける。 ②人間教育…いかなる職種でも必要なプロとしての身構え、気構え、心構えを持った職業人を養成する。 ③国際教育…在学中からコミュニケーション言語としての英語、および専門英語を身につけるばかりでなく、より広い視野でモノを捉える国際的な感性を養う。 【4つの信頼】 ①学生保護者からの信頼②業界からの信頼③高等学校からの信頼④地域からの信頼を大切にしている。また、これら理念を文章化した「滋慶語録」という冊子に沿って研修等で理念の確認を行っている。	3.0	滋慶学園の建学の理念である、実学教育・人間教育・国際教育にそった学校運営がなされています。さらに教育機関として最も大切な信頼を得るための方針として学生・保護者からの信頼 業界からの信頼 高等学校からの信頼 地域からの信頼 を掲げています。何気ない方針ですが学校の信頼の原点を指し示すことは素晴らしいと思います。業界のニーズに適合するために、教育課程編成委員会を各学科ごとに2回実施している努力。そして看護科の設置計画は素晴らしい評価です。
	1-1-2 育人人材像は業界等の人材ニーズ像に適合しているか。育成に関連業界の協力を得ているか。	3	教育課程編成委員会や業界講師面談、業界訪問等により、業界が求める人材像を明確にするとともに、教育課程・授業計画等策定に活かしている。 また、各学科における法定実習等について、2021年度は学内実習に切り替えて実施した学科もあった。その際にもオンラインでコメントを頂くなど業界の皆様と協力していただきました。	【教育課程編成委員会】 2022年度は各学科ごとに日程を設置し、2回実施した。 【実習指導者会議】 学生受け入れていただく実習先の職員に参加してもらい、実習の目的等を理解してもらった会議。学生も参加して実施している。(ST科)	3.0	変化する業界ニーズをしっかりと把握し、業界が求める人材育成に尽力してもらいたい。
	1-1-3.4 理念の達成、業界ニーズに適合する将来構想を抱いたうえでの教育活動に取り組んでいるか。	3	産学連携教育を重点に置き、学校と業界と協力して人材育成に取り組んでいる。学校のイノベーションは5か年で計画しており、事業計画に記すのと同時に教職員研修、講師会議等でも将来構想について周知している。	【看護学科の設置計画】 2022年4月看護学科を開講。医療教育の中核を担えるような学校にしていく計画である。 【産学連携教育】 現場実習や企業との共同研究など、産業界と連携した教育を行っている。そのことで環境変化にも耐えうる人材を育成している。	3.0	海外の方が病気を看護師さんに伝えるのに苦労しているのを見たことがあるので看護師さんが聞き取る力をUPしていただくのは大事だと思います。

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
2 学校運営	2-2-1 運営方針は定められ、教職員に周知・浸透されているか	3	5か年先を見据えた運営方針は事業計画として記載されており、学校運営会議、法人常務理事会、法人理事会、法人評議員会の決議を受け、承認を得ている。 また、事業計画は毎年3月初旬に行うスタート研修で、組織目的、運営方針、目標、実行計画、役割など全教職員へ周知徹底している。	【2022年度運営方針】 ①「楽しい授業」「新しい学び」を創造し続ける。 ②授業含め「正直で等身大の価値」を伝える広報を展開する。 ③コンプライアンスを強化し、適切な運営を実現する。	3.0	5か年計画を滋慶学園法人理事会・評議会で審議し最高意思の決定がなされています。その決定された運営方針をさらに、学校校運営会議・事業計画会議さらに各学科や部署ごとに会議打ち合わせを行って、方針の伝達と意思の確認をしています。 人事の関係や情報管理も、学内共通システムで事業計画に含まれており問題はありません。 すみません運営の事に意見はありません。
	2-3-1 事業計画は理念等を達成できるよう定められているか	3	事業計画は建学の理念、4つの信頼をベースにしたうえで、各学校の目指す方向性を示している。また事業計画は学校での運営会議、本部での戦略会議を経て、法人理事会と法人評議会によって承認されており、計画そのものに理念との乖離がないかの確認が行われている。	【運営会議】 月に2回行われる学校での会議。役職者で学校の意思決定を行う。 【戦略会議】 本部で月に1回行われる会議。常務理事と本部長によって構成されている。	3.0	
	2-4-1,2 理事会は適切に開催されているか。また、運営組織や意思決定機能は体系化され、効率的なものになっているか	3	理事会は年4回実施されており、学則や寄付行為の変更等の承認を受けており、議事録は関係部署に公開されている。 運営組織は、実行計画の最適化の観点から毎年見直されており、本部含めた全体像は、事業計画書の組織図に示されている。	【2022年度 運営組織】 4校舎14学科を運営するために、教務部を3学部体制とした。 それぞれの学部には共通した課題があり、学科を越えて情報共有できる組織としている。	3.0	
	2-5-1 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	職員採用にあたっては、学校だけではなく学園本部においても部署を配置し、採用広報、採用試験、研修を実施している。 賃金については、目標管理制度を基本とし、これと対応して成果主義を取り入れた賃金制度を設けている。	【目標管理制度】 目標の達成度は本人評価⇒上長評価⇒学校責任者評価と3段階で実施される。また、数値で評価できない業務についてはプロセス評価も導入しており、上長の評価は本人と面談をしたうえで決定する。その評価についての妥当性は運営会議にて全マネージャーで決定をし、評価に矛盾の無いようにしている。最終評価は、本部の戦略会議でグループ校すべての結果を踏まえて承認される。	3.0	
	2-6-1 意思決定システムは確立されており明確になっているか。	3	意思決定システムは事業計画に含まれており、それぞれの会議の位置づけ・目的についても明記されている。また会議日程も年間で決めており、出席者は年度当初にスケジュール調整を行っている。	【会議】 ①理事会②拡大常務会③戦略会議④運営会議⑤全体会議⑥部署別会議 ※上記以外に、TBM(ツールボックスミーティング)を重視している。 ※TBMは定例会議まで待てない懸案事項について即時、利害関係者を招集し協議決定にあたる場である。	3.0	
	2-7-1 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	学園全体で共通の業務システムを使用しており、入学希望者や在校生、求人情報などの情報管理を行っている。	【業務システム】 広報システム、教務システム、学費システム、就職システムがあり、常勤職員はこのシステムを通じて情報共有できる。 【遠隔授業のツール】 Teams、ZOOM 2022度は、Teamsを学園全体で導入。	3.0	

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
3 教育活動	3-9-1,2 教育の目標・目的に沿った教育課程を編成し外部の意見も反映しているか。	3	教育課程は、教育課程編成委員会や業界訪問などにおいて、環境変化と業界ニーズを踏まえて作成している。また、教育課程は毎年見直され、運営会議で承認を受けることにしている。	2022年度の教育課程編成委員会は来校とオンラインで実施した。	3.0	教育課程編成委員会などで業界や社会のニーズを踏まえた教育課程で授業が展開されています。この授業でも学生から授業アンケートを実施して講師の評価や授業改善に取り組んでいます。成績などの評価についても学生便覧に単位の修得・成績評価を明記し、教務会議・卒業進級判定会議などで公平に評価されています。
	3-9-3 キャリア教育を行なうために教育内容等の工夫をしているか。	3	キャリア教育ロードマップを作成して指導の方向性を示している。 また教職員はキャリア教育に関する指導・支援について、研修を受講している。	【学生サポートハンドブック】 ①教職員カウンセリング研修、②進路アドバイザー研修、③キャリア教育カウンセラー研修で構成されている学園独自の教育マニュアル。教職員は、この冊子を基に研修を段階的に受講する。 また、2021年度より学生便覧にキャリア教育の機会の見えるようなページを追加した。	3.0	
	3-9-4 授業評価を実施し、授業改善に活用しているか。	3	前期・後期の各1回、学生に授業アンケートを実施している。 この授業アンケートの結果とオープン授業(公開授業)を通して、各講師の専門性の把握及び評価を行い、フィードバックを行うことで改善を促している。 授業の改善、改革の推進は講師にも浸透し始め、アンケートを基に表彰を行っている。	【授業アンケート】 アンケート結果を基に、講師面談等でフィードバックし授業改善に努めている。 【講師会議】 年2回実施している非常勤講師向けの会議(研修)で、評価の高い講師の授業の取り組みなど水平展開できるように実施している。	3.0	
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確にしているか。	3	単位履修、成績評価については、学生便覧に学則施行細則として明記し、全学生に説明している。また教務会議、卒業進級判定会議などにおいて、成績評価、単位履修についての共通認識を確認している。	入学時、進級時に担任より、学生便覧の読み合わせを行い説明をしている。 また、最初の定期試験前には、担任より再度説明を行っている。 保護者へ向けては保護者会で説明を行っているが、成績表発送時にも成績評価・終了認定基準を文書化したものを同封している。	3.0	
	3-10-2 学生の受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	学生の授業や研究発表、実績については担任を通じて全体集約しており、研究内容によっては卒業時に表彰している。	【主な表彰】 理事長賞、学校長賞、東京都専修学校各種学校協会会長賞、医療秘書技能検定会長賞、医事コンピュータ技能検定会長賞、日本言語聴覚士協会会長賞、全国リハビリテーション学校協会優秀賞、日本視能訓練士協会優秀賞、全国視能訓練士学校協会優秀賞、全国救急救命士教育施設協議会成績優秀者表彰、日本臨床工学技士会会長賞、日本臨床工学技士教育施設協議会代表理事賞、滋慶教育科学研究所審査員特別賞、滋慶教育科学研究所奨励賞、滋慶教育科学研究所努力賞、東京都歯科医師会会長賞	3.0	
	3-11-1,2 目標とする資格は教育課程上、計画に位置付け、取得の指導体制はあるか。	3	各学科、資格合格に向けての対策授業を構築している。 学園全体としても国家試験対策センターを設置し、国家試験対策研修会、勉強会を実施している。	【滋慶学園 国家試験対策センター】 大阪本部に設置。グループ校の全学科の国家試験結果の分析、傾向の把握、模擬試験運営等を担う。	3.0	
	3-12-1,2,3 資格・要件を備えた教員を確保し、教員の資質向上の取組みを行なっているか。	2.8	採用については、学校と本部と情報共有しながら実施しているが、規定通りの教員を確保できていない学科もある。 滋慶教育科学研究所(JESC)を中心にFD活動を支援する多くの研修があり、資質向上を目指している。	【職員研修】 担任研修／カウンセリング研修／新入職研修／新入職フォローアップ研修／トレーナー研修／OJT研修／国家試験研修／FD研修／マネジメント研修／滋慶教育科学学会など。 【滋慶教育科学研究所(JESC)】 滋慶学園グループ全校の教職員の資質向上を目指した研究機関で学園全体の職員研修を実施している。	2.8	
4 教育成果	4-13-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	2.7	専門就職率は98%(前年比+3%)と高い水準を満たしている。 就職内定率は94%(前年比+3%)と前年より早期に内定を決めることができた。 年度内内定率100%達成に向けて、個別最適化された就職支援を継続して実施していく必要がある。	就職支援ツールの活用や、就職支援授業を早期に導入し就職活動に対するモチベーションを高めることができた。 【就職支援ツール】 ・就職活動マニュアル ・自己分析シート ・Microsoft365 【就職支援授業】 ・就職活動スタート講座 ・模擬面接会 ・学内病院、企業説明会 ・メイク講座	2.8	就職率100%を目指し、またそれをPRの一つの基準にしている学校が多いのですが、卒業後の離職率を考えると、就職率100%を強調する学校の卒業後の離職率が高いのです。それは学生が本来希望していなかった業界・企業に就職しなければならなかった現実が存在しています。就職率の向上よりも学生が希望する企業・職種への就職指導が大切だと思います。 資格取得率向上を目標に更なる工夫を学生の意欲・意識向上に努めてもらいたい。 登録販売者については、フォローもよくできていて、当社においては合格率は高い。
	4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	2.3	国家資格によっても平均合格率が異なっていたり、難易度も異なるため、学科ごとに5か年での目標を設定している。 学科によって100%の学科もあるが、全学科で100%を達成するには課題がある。	【2022年度 国家試験結果(合格率)】 言語聴覚士科 :88.1% 言語聴覚士科2年制:65.2% 視能訓練士科 :93.9% 視能訓練士科1年制:96.7% 臨床工学技士科 :100% 救急救命士科 :97.6% 歯科衛生士科Ⅰ部:97.6% 歯科衛生士科Ⅱ部 :95.5%	2.4	
	4-15-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.8	卒業生についてはキャリアセンターが中心となり、業界訪問時や就業状況調査アンケート等を通じ状況の把握をしている。 在校生は担任による指導、面談の中で学校内外での活動に関し、支援体制を取っている。	【卒業生・在校生の活躍】 ・日本医療秘書学会学術大会(IT医療事務総合学科在校生) ・日本臨床眼科学会(在校生) ・日本臨床救急医学会(卒業生) ・日本救急救命学会(卒業生)	3.0	

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
5 学生支援	5-16-1 就職に関する体制は整備されているか	3	職種ごとに就職活動時期のピークが異なる為、その時期に合わせ就職行事を設定し、就職支援を実施している。(自己分析、病院・企業説明会、模擬面接会等) また、学校独自の就職活動マニュアル、自己分析シートを作成し、全学生に配布し就職活動で活用できるよう支援している。今年度からMicrosoft365を活用し共有をデータにて情報を共有。	学科ごとの就職会議を月一度実施を通じ、学生就職状況表を基に、学生一人ひとりの状況に合わせた就職支援を実施。 就職行事は、学科により実施する時期のずれが生じるため、学科スケジュールにあわせた活動に変更して実施。今年度は企業、病院からの要望もあり、オンラインではなく、対面での説明会を実施。	3.0		
	5-17-1 退学率低減の為の取組みを行なっているか。	2.3	前年度の退学者の傾向を分析し、対策を立てたうえで、年度当初に学科ごとの退学目標数字を決定している。 また、年度中間期と年度の終わりには、卒業進級判定会議資料として進級者名簿・数と退学者名簿・数、退学時期、退学問題分類・詳細、その結果を受けた学科総括と対策案を書類として作成している。	2022年度もコロナの影響を受け、精神的や経済的に厳しい学生が退学となった。退学理由は多様化・複合化している。1年生の退学が多かったが、近年の傾向として2年生や卒業学年、また社会人向け学科でも退学が増加している。 (退学率 2022年度:5.2% 2021年度:4.5% 2020年度:4.4% 2019年度:4.8%)	2.2		
	5-18-1.2 留学生支援も含め、学生相談に関する体制を整備しているか。	2.8	留学生に関しては、入国管理局への在留資格の取得や更新の手続きを学生サービスセンターが行い、資格外活動の管理や生活・言葉の不安に対する対応を在籍学科教員を中心に行っている。 日本人学生も含めて、精神面・健康面・学費などの相談を受入れる体制を整備している。	留学生希望度の高い学科は、個々に合わせた教育・広報の構築が必要となる。	2.8		学生の健康管理で慶生会クリニック・精神的な相談窓口で滋慶トータルサポートセンターなどの健康管理は評価されて良いと思います。 一つの課題は留学生にしても、日本人学生にしても質の維持・さらにはコロナ感染の影響で在宅授業・リモート授業の慣れから人間関係が対面できづけない学生が急増しています。彼らが中途退学者の予備軍となり、悩める学生になる度合いが高いと思われるので、心の対応と心を鍛える授業・保護者との連携がさらに必要です。
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	法人の教育・研修を受けたフィナンシャルアドバイザーが常駐し、入学から卒業までの学費相談を行っている。 国の高等教育における修学支援新制度が開始となり、本校もその確認校として授業料等の減免を実施した。	分割納付希望者には保護者を交えた学費面談を行い、制度の理解を得られるよう務め未納対策としている。 上記対策の徹底により学費回収率100%を達成した。	3.0		
	5-19-2、3 学生の健康管理や、学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。	3	学園が運営する「慶生会クリニック」「滋慶トータルサポートセンター」が学生の身体と心の健康管理をしている。毎年春に実施する健康診断で再検査対象者には、慶生会クリニックにて再検査も実施している。 学園本部では学生寮の運営もしており、寮生については寮長と担任が情報交換、情報共有をしている。	【健康診断受診率】2022年度:100% 【医療法人社団 慶生会クリニック】 東京・大阪・福岡で学園グループが運営するクリニックで、一般診療以外に在校生の内科・歯科の診療を担当している。 【ジケイ・スペース株式会社】 校舎のメンテナンスおよび滋慶学園グループ校専用の学生寮を運営している。	3.0		コロナの影響により、感覚・感性が学生にも変化していると思われる。その辺を考慮した対応を引き続きお願いしたい。 また、そういった情報・状況を就職先(現場)サイドにもいただけると、離職防止の対策に役立てると思うので、是非お願いしたい。
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8	学生プレスという組織でオープンキャンパス等で在校生の姿や声を参加者に直接届けるスタッフとして活動している。	約230名が学生プレスとして活動している。	2.8		すでに実施されていると思われるが、卒業生からの講演を「在校生に向けて積極的に実施してもらいたい。在校生にとっても卒業生にとっても有意義になると思われるため、多数実施してもらいたい。
	5-20-1 保護者と適切に連携しているか。	3	多様な開催方法の検討実施。 オンライン配信 (リアルタイム型) オンデマンド型配信 (録画配信型)など 感染状況が厳しい環境下においてもスマホアプリ(Lineなど)を活用し保護者面談・3者面談を実施した。	近年では、入学式、卒業式への保護者の出席率が高まっており、専門高校生とはいえ、保護者の学校情報の開示ニーズは高まっている。2022年度はできるだけオンラインで対応した。	3.0		5-17-1で2の評価をしたのが初の低い評価となりますが、医療などの志が高い人の為の学校で退学率が5%を超えてしまうのが残念な気がします。精神面での退学は減るようにサポートして欲しいと思います。
	5-21-1 卒業生への支援体制はあるか	2.8	卒業時に卒業教育プログラムの内容とスケジュールを明示し積極的な参加を促し、卒業後も学習や研究ができる場の提供をしている。また、資格不合格者には、卒業後も合格まで補習等を無償でサポートしている。2022年度もコロナの影響もあり、同窓会等の行事は中止。	再受験支援(リスタート) ①インターネットを介した通信教育 ②学校での国家試験対策授業	2.8		
5-21-3 社会人経験者のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	社会人進学者に対し、奨学金等の情報提供を行い学びの支援を行っている。学則にて入学前の履修の単位認定について定めている。修業年限を配慮した大卒等を入学要件とした学科を設置している。 本校は学生の約3割が社会人経験者であり、既卒者向けの体制は確立されている。	2022年度の実態 教育訓練給付金 対象学科 視能訓練士科・言語2年制・歯科衛生士科・医療事務総合学科・医療事務専科 社会人対象 開講学科 視能訓練士科1年制(土日祝) 言語聴覚士科2年制(夜間部→土日月) 歯科衛生士科Ⅱ部(夜間部)	3.0			

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
6 教育環境	6-22-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.8		2022年度より新たな教育環境を整備するために第4校舎が稼働した。 ICT教育に対応するため全教室にIT教卓・プロジェクターを設置し、講義が行いやすい環境を整えた。またMicrosoft TeamsやZoomなどのオンラインでのツールも導入した。	3.0	新校舎の落成や各教室にIT教卓・プロジェクターを設置するなど施設の充実を図っています。 また教育上必要な設備・施設も充分整っています。
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	コロナ禍において、2022年度も海外研修(海外渡航)中止。 代替プログラムの国内国際性講座では、学科ごとに特色ある研修先を選定している。これまでは、各分野における先進国という観点で渡航・研修先を決定しているが、日本自体が先進国であるという例も多い。 オンラインで、どこまで体験させられるかが課題である。	2022年度は、フィンランド(歯科衛生士科)と学校を繋いでオンライン上で海外研修を行った。	3.0	その機器を活用してのフィンランドの学校とオンラインの授業は学生にとっても、教職員にとっても意義ある試みだと評価できます。 十分な整備が整えられていると思わせる。
	6-24-1.2 防災に対する体制と学内における安全管理体制が整備されているか。	3	防災マニュアルを整備し、毎年防災訓練を行っている。また、管理会社も訓練に参加し、訓練内容の評価をして継続的な改善に役立っている。 防災・防火に関する点検は法令に基づき実施をしている。 緊急地震速報システムの設置、学生・教職員に対する安否確認システムを導入している。	学園として災害対策本部があり、非常時には情報、連絡、支援などスケールメリットを活用している また、大型地震が発生した場合、本校は津波に対しても警戒せねばならず、各教室に津波が起こった際、どの教室に行くのかを明確に指示掲示している。 2022年度も防災訓練は、コロナ禍のためクラス単位でオンライン等を活用した防災教育を実施して対応した。	3.0	防災の観点から仲町の防災訓練に参加していただく際、防災に対しての知識を広めていただきたいと思います。
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校に対し教育活動等の情報提供を行なっているか。	3	在校生・卒業生の状況は高校訪問・進学説明会にて逐一伝えている。 また進路ガイダンス等にも注力し、積極的に高等学校で直接高校生に進路情報を伝えられるよう努力している。	遠方の高等学校に向けては、ZOOMをはじめとしたオンライン上での体験授業・説明会で情報を得られる工夫をしている。電話やメール、SNSを用いて問い合わせに回答している。	2.8	オープンキャンパスを毎週実施するなど積極的な募集と情報発信をしています。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行なっているか。	3	本校は東京都専修学校各種学校協会に加盟し、同協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。個人情報の管理についてはWEB上で管理しており、厳重に管理している。 オープンキャンパスは毎週実施しており、時期ごとに志願者の趣向にあわせた内容で実施している。	高校教員対象の説明会(オンライン)を実施し、学校理解・職種理解を深める機会を提供している。 志願者からの問い合わせに混乱なく迅速に対応するために専用の連絡先を設置している。 通常の体験授業以外にも志願者の趣向にあわせたオープンキャンパスを実施している。(社会人対象・平日個別相談・学費相談説明会など)2020年よりオンライン上での説明会も開始している。	3.0	業者が仲介する高校の進路ガイダンスにも加盟して高校への働きかけをしています。さらに独自の高校訪問を期待します。 入学試験・推薦試験を含めて学校長・事務局長・教務部長などを中心として適正に公平に選考が行われていることは評価されるべきです。
	7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行い、選考に関する実績の把握ができていますか。	3	入学選考に関しては、基準を募集要項に明示している。 合否の判定に関しては学校長・事務局長・教務部長・広報センター長・学科長により構成される「選考会議」にて合否を確定する。面接・書類内容・選考試験が実施されている場合、その結果をふまえ総合的に判断している。	【2023年度入学生の入試ごとの入学状況】 A O 入 試 : 297名 高校推薦・指定校推薦入試: 38名 一 般 入 試 : 138名	3.0	退学率低減の第1歩として、引き続き高等学校訪問・説明会を「実施詳細に「情報提供を行ってほしい。」
	7-27-1.2 学納金は妥当なものとなっており、入学辞退者に対し適正な取扱いを行なっているか。	3	学納金は適正かつ妥当なものであると考えている。 入学辞退者に対して、3月31日までの申告者には入学金以外は全て返金している。	募集要項に教材・テキスト含め必要な学納金を入学初年度と在籍年数全体の金額として提示している。	3.0	好印象を与える説明だけでなくこういう所が大変だと思いますという部分も知らせて欲しいと思います。在校生の大変な事を聞き取って散らせる様な事があると良いと思います。

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
8 財務	8-28-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	5カ年を見通した事業計画と共に収支予算計画も作成しており、財務基盤の安定に努めている。	新校舎建築、新学科設立に伴う職員の採用などで収支差益はいったん下がるが、新学科の全学年の学生は揃うと、今よりも収支差益は向上する計画であり、財務基盤はますます安定する。	3.0	
	8-29-1.2 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定し適正に執行管理を行なっているか。	3	教育目標と整合性を図り、5カ年の収支予算を作成している。作成した収支予算は学園本部とも協議をし見直しを行い、必要に応じて年度途中でも理事会の承認を得た上で修正をしている。	単年度予算については、より詳細に部署別に落とし込んで作成をしている。執行状況は毎月行う運営会議で確認し、教育目標と照らし合わせ、予算超過が見込まれる場合にはその場で対策を講じている。	3.0	学校の財務状況・学校法人の財務状況は学校法人滋慶学園グループ全体でしっかり管理されています。全国80数校と全体の学生数38000名の財務体制は、他の専門学校や大学・短大を抱える法人からみれば盤石の態勢で何の問題もありません。ただ職員の働きかた改革で時間の管理・健康管理は今まで以上の注意が求められますのでしっかりした舵取りをお願いします。
	8-30-1 財務について会計監査が適正に行われているか	3	公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会および評議員会においてその報告をしている。	私立学校法上、義務付けられている「監事における監査」を受けているが、それに加えて、「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。	3.0	お金の流れは明瞭にして、どこにどれだけ掛かっているかも学生、その保護者にも提示し、無駄がないか確認してもらおうが良いと思います。
	8-31-1 財務情報公開の体制整備はできているか	3	私立学校法に基づく財務情報公開体制が整備されている。外部関係では寄付行為の変更認可及び行政への届出、そして内部関係では財務情報公開規程および情報公開マニュアルを整備し、財務情報公開をしている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、情報公開に対処している。HPIに財務情報公開済み。	3.0	
9 法令等の遵守	9-32-2 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	法令遵守を学園の方針に掲げており、教職員全員でその方針を理解し実行に努めている。法人理事会の基に、コンプライアンス委員会を設け、学校運営が適正であるかどうか判断をしている。	半数以上が国家資格系学科であり、教職員の法令遵守の意識は高い。学校責任者および申請担当者に向けて学園のコンプライアンス委員会から情報発信を行い、必要に応じて研修実施や業務支援をしている。	3.0	
	9-33-1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	就業規則に個人情報保護を明記するとともに、教職員に対し研修を実施している。学園の中に「個人情報保護委員会統括事務局」を置き、個人情報保護管理体制の継続的改善に取り組んでいる。	外部機構の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年ライセンスを更新している。また、個人情報保護に関しては全職員が認定CPAアカデミック資格を取得し毎年更新研修を受講している。	3.0	学校の設置や運営に関する専修学校法や、個人情報の管理さらには自己点検や自己評価の公開も的確に行い、学校関係者評価委員会でも学校の実態・問題点・課題などを丁寧に説明するなどの姿勢は高く評価すべきです。
	9-34-1.2 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努め、その結果を公表しているか。	3	自己点検は平成15年度より毎年実施しており、その点検を学校関係者に評価していただいている。	自己点検・自己評価を実施する中で見えてきた改善項目は学校責任者を中心に関係部署リーダーにて対策を検討している。評価結果は学校関係者保護委員会にて更に評価を得た後に、HP上に公開をしている。	3.0	* 提案です ①学校関係者評価委員会の開催時に、委員会の前に学校授業の見学会を企画してください。 ②評価委員会の会場で説明するモニターの資料を、プリントして委員に配布して頂けるとさらに内容が理解できると思います。
	9-34-3.4 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価結果を公表しているか。	3	学校関係者評価委員会を実施し、自己点検・自己評価の報告をし、更に評価を行っている。評価結果についてはHPにて情報公開を行っている。	学校関係者評価委員会での報告方法等に関しては、委員が評価し易いよう定期的に改善を行っていく。	3.0	個人情報の管理を徹底されていると思います。
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行なっているか。	3	職業実践専門課程の認定を受け、HPで教育内容の情報公開を行っている。教育行事の取り組みは学校・学科ブログ等でも情報の公開を積極的に行っている。	※特記事項は特に無し。	3.0	

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	本校では学校の存在価値として4つの信頼を掲げている。その中に地域からの信頼を掲げ、社会貢献、地域貢献に積極的に取り組み、地域の方々からの信頼を得られる事を行動の指針としている。	【具体的な取り組み例】 1)えどがわ楽市に協賛を実施。 2)言語聴覚士科 就学前の言葉の発達に問題を抱える幼児を対象として、言葉の発達の支援を実践している。 3)歯科衛生士科 江戸川区歯科医師会と共同し小学校の歯磨き指導を行なっている。 地域の3歳以上の児童を対象にデンタルフェス(歯磨き指導・歯科衛生士職業体験等)を行っている。 4)救急救命士科 救命救急講習やAED講習等行っている。また、在校生が仲町消防団に入団し、地域貢献活動を行っている。	3.0	この数年はコロナ感染の影響から、学外に出ての社会貢献は難しい課題であったと思います。コロナが明けた今年からは、悩める親子が多い言語聴覚や部活動が盛んな中学・高校さらには地域のスポーツクラブに出向いてのAED講習などでの貢献と学校のPRに期待します。
	10-36-2 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	3	本校は建学の理念の一つとして「国際教育」を掲げている。海外研修はこの理念に基づく教育実践の場になっている。各学科の特長特色に合わせて海外研修先を選定し、1週間程度のプログラムで実施している。	6-23-1と同様。	3.0	コロナの影響により実施できていなかったボランティア活動も可能な範囲で復活してもらいたい。
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し活動支援を行なっているか。	2	ボランティア活動は積極的に推奨しているが、実態を把握しきれてはいない。今後、学生のボランティア活動結果を学内で共有する仕組みが必要だと感じる。	【ボランティア実績】 ・失語症友の会(言語聴覚士科) ・葛西地区お祭り防災ブース(救急救命士科) ・フッ素塗布事業運営補助(歯科衛生士科) など	2.8	仲町消防団ご入団後のご活躍は伺っております。引き続きのご尽力をお願いいたします。